世　界　史

1　次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

上の写真は北京の紫禁城の一部である。紫禁城は、明朝(1)と清朝(2)によって皇帝の宮殿として使われた。明代の紫禁城はいったん明(3)の滅亡のときに焼失したが、清朝によって再建されたのである。北京を都にした王朝は明が最初ではない。明の前の元朝(4)のときに、フビライ(クビライ)(5)がここ北京を首都としている。さらにその前の遼(6)代や金(7)代にも、ほぼ現在の北京に当たる地は燕京とか中都と呼ばれて、首都ないしそれに匹敵する重要な都市であった。唐代に安史の乱(8)を起こした安禄山の本拠地も、現在の北京の近くにあった。さらにさかのぼると、戦国七雄の一つだった燕(9)の中心地も、北京付近にあった。このように、北京付近は古来、北方の遊牧地帯と接する地域として、常に重要な地位を占めていた。

問1　下線部(1)の明朝で首都を南京から北京に移したのは誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　1

ⓐ　洪武帝　　ⓑ　永楽帝　　ⓒ　正統帝　　ⓓ　万暦帝

問2　下線部(2)の清朝の軍隊が北京を占領する際に、清側に寝返った明の将軍は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　2

ⓐ　呉三桂　　ⓑ　鄭成功　　ⓒ　顧炎武　　ⓓ　徐光啓

問3　下線部(3)の明を滅亡させた反乱の首謀者は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　3

ⓐ　李時珍　　ⓑ　李成桂　　ⓒ　李舜臣　　ⓓ　李自成

問4　下線部(4)の元朝のときに、北京は何と呼ばれていましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　4

ⓐ　開　城　　ⓑ　上　京　　ⓒ　開　封　　ⓓ　大　都

問5　下線部(5)のフビライ(クビライ)が皇帝として統治したのは、何世紀ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　5

ⓐ　13世紀　　ⓑ　14世紀　　ⓒ　15世紀　　ⓓ　16世紀

問6　下線部(6)の遼(キタイ、契丹)国を建国したのは、もともとモンゴル高原の東方にいた遊牧・狩猟民キタイ(契丹)人です。彼らは南方に進出して中国に毎年貢物を送らせる和議を結ぶことに成功しました。そのときの中国は何という国でしたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　6

ⓐ　西　夏　　ⓑ　北　宋　　ⓒ　南　宋　　ⓓ　東　晋

問7　下線部(7)の金王朝を建てたのは女真(女直)人ですが、彼らは言語的にはどのような系統に属すでしょうか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　7

ⓐ　トルコ系　　ⓑ　モンゴル系　　ⓒ　ツングース系　　ⓓ　チベット系

問8　下線部(8)の安史の乱が起こったのは、何世紀ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　8

ⓐ　8世紀　　ⓑ　9世紀　　ⓒ　10世紀　　ⓓ　11世紀

問9　下線部(9)の燕は国都が戦国七雄の中では最も北に位置していましたが、最も南にあった国はどこですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　9

ⓐ　秦　　ⓑ　楚　　ⓒ　斉　　ⓓ　韓

問10　下線部(9)の戦国時代が終わったのは、何世紀ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　10

ⓐ　前4世紀　　ⓑ　前3世紀　　ⓒ　前2世紀　　ⓓ　前1世紀

2　次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

古代の都市国家ローマにおける共和政では、貴族から選ばれた2名のコンスル(執政官)と、貴族が構成する元老院が中核となっていた。しかし、やがて貴族と平民の身分闘争が激しくなり、平民もしだいに政治的権力を獲得していった。前287年には新たな法律(1)が成立し、平民は貴族と同等の政治的権利を持つにいたった。

前3世紀前半にイタリア半島を統一したローマは、周辺諸国に進出して次々と海外領を獲得し(2)、前2世紀なかばには、地中海世界を支配下においた。しかし、度重なる征服戦争によって、ローマ社会は変質していった。出征により没落した農民と、農地などを買い集めた元老院議員や騎士階層のあいだの社会的格差が拡大しただけでなく、戦争捕虜が増加して、特異な奴隷制社会が生まれた(3)。

その後、前2世紀から前1世紀にかけて、各地の奴隷蜂起、剣闘士(剣奴)の大反乱(4)、イタリア同盟都市の反乱が相次いで起こり、権力闘争(5)も加わって、社会は混乱をきわめた。こうした混乱は、前31年の海戦(6)で、オクタウィアヌスがアントニウスを破り、最終的に収拾された。

前27年、元老院はオクタウィアヌスに「アウグストゥス(尊厳者)」の称号を贈った。彼は全政治権力を掌握し、事実上の皇帝となった(7)。これ以降、帝国内では、商業や貿易が栄え、均質な文化が各地に広がった(8)。

しかし、3世紀に入ると、兵士出身の皇帝が次々と軍隊に擁立されるという軍人皇帝の時代に移っていった。この混乱の中で、国境防衛は危機にみまわれ、東方からはササン朝がシリアに侵入し(9)、小アジアにまで攻め込んだ。

深刻化する帝国の危機に対し、ディオクレティアヌス帝は四帝分治制(四分統治)を取り込み、コンスタンティヌス帝は、キリスト教の公認、ビザンティウムへの遷都(コンスタンティノープルと改称)を断行したが、帝国の衰退・分裂を防ぐことはできなかった。395年、帝国は東西に分裂し、476年、西ローマ帝国は滅亡した(10)。

問1　下線部(1)に言及されている法律を何といいますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　11

ⓐ　リキニウス・セクスティウス法　　ⓑ　ホルテンシウス法
ⓒ　十二表法　　ⓓ　ドラコンの立法

問2　下線部(2)に関連して、前3世紀から前2世紀にかけて、西地中海の覇権をめぐってローマが行った戦争を何といいますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　12

ⓐ　ポエニ戦争　　ⓑ　ペロポネソス戦争
ⓒ　イタリア戦争　　ⓓ　マラーター戦争

問3　下線部(3)に関連して、戦争捕虜である奴隷を使った大土地所有を何とよびますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　13

ⓐ　ラティフンディア　　ⓑ　コロナトゥス
ⓒ　ヘイロータイ(ヘロット)　　ⓓ　ペリオイコイ

問4　下線部(4)に関連して、前73年から始まった剣闘士(剣奴)の大反乱を指導したのは誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　14

ⓐ　アリストファネス　　ⓑ　スパルタクス
ⓒ　グラックス　　ⓓ　リウィウス

問5　下線部(5)の過程で、前60年に第1回三頭政治が成立しました。この時政権を握った3名は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　15

ⓐ　ポンペイウス・カエサル・クラッスス
ⓑ　ポンペイウス・カエサル・レピドゥス
ⓒ　カエサル・レピドゥス・クラッスス
ⓓ　レピドゥス・クラッスス・ポンペイウス

問6　下線部(6)の海戦はどこで行われましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　16

ⓐ　サラミス　　ⓑ　トラファルガー
ⓒ　アクティウム　　ⓓ　レパント

問7　下線部(7)に関連して、アウグストゥスが始めた統治体制を何とよびますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　17

ⓐ　専制君主政　　ⓑ　元首政　　ⓒ　絶対王政　　ⓓ　立憲君主政

問8　下線部(8)に関連して、古代ローマ帝国時代に、その領域内につくられた建造物として**適切でないもの**を以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。　18

ⓐ　水道橋　　ⓑ　円形闘技場　　ⓒ　ミナレット　　ⓓ　凱旋門

問 9　下線部⑼に関連して、この時のササン朝の皇帝は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 19

ⓐ ホスロー１世　　ⓑ シャープール１世
ⓒ ダレイオス１世　　ⓓ セリム１世

問10　下線部⑽に関連して、西ローマ帝国を滅ぼしたのは誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 20

ⓐ オドアケル　　ⓑ クローヴィス
ⓒ アッティラ王　　ⓓ テオドリック大王

3　次の文章を読んで、問１～10に答えなさい。

封建社会では王権が貧弱で、統一的な政治権力が弱く、ローマ＝カトリック教会は西ヨーロッパ世界全体に普遍的な権威を及ぼし、教皇権は13世紀初頭に絶頂に達した(1)。しかし、13世紀末までに各国で王権が力をつけるなか、教皇の権威も衰えをみせるようになった。14世紀には、教皇庁がフランスのアヴィニョンに移され、約70年間にわたりフランス王の影響下におかれた(2)。教皇はその後ローマに戻るが、アヴィニョンにはフランスの庇護を受けた別の教皇が立ち、教会は分裂し、教皇と教会の権威は失墜した。各地では、教会を批判する神学者があらわれ(3)、キリスト教の革新運動がおこった。教会側は公会議を開催し、教会の分裂を解消した(4)が、宗教界の混乱はおさまらなかった。

その後も教会への批判はやまず、1517年、ヴィッテンベルク大学神学教授のマルティン＝ルター(5)が「九十五カ条の論題」を発表し、ついに宗教改革が本格化する。宗教改革は、信仰と教会のあり方を真摯に問い直すものとして多くの支持者を集めたが、同時に政治的な抗争の口実ともなった。1524年には、ルターの説に影響を受けたドイツの農民たちが、農奴制の廃止などを要求して反乱を起こした(6)。諸侯を巻き込んで戦争にまで発展したルター派ら新教徒と旧教徒の対立は、1555年にようやく収拾することになり、カトリック派とルター派ともに認めるが、領民は諸侯の宗派に従うという原則がここに確立された(7)。

スイスでは、カルヴァンが独自の宗教改革をおこなった(8)。カルヴァン派はその後フランスやネーデルラント、スコットランドやイングランドなどにも広まり(9)、ルター派とならび大きな宗派を形成した。他方、こうした宗教改革の進展を前にカトリック教会でも勢力の立て直しがはかられた。なかでもイエズス会(10)は、ヨーロッパだけでなく海外でも積極的な宣教を広げ、カトリック教会の勢力回復に貢献した。

問 1　下線部⑴を象徴する教皇は誰でしたか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 21

ⓐ レオ３世　　ⓑ グレゴリウス７世
ⓒ インノケンティウス３世　　ⓓ ハインリヒ４世

問 2　下線部⑵の出来事は何と呼ばれていますか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 22

ⓐ 教皇のバビロン捕囚　　ⓑ カノッサの屈辱
ⓒ ツンフト闘争　　ⓓ アナーニ事件

問 3　下線部⑶のなかで、教会を批判したベーメンの神学者は誰でしたか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 23

ⓐ フス　　ⓑ フーリエ　　ⓒ ウィクリフ　　ⓓ トスカネリ

問 4　下線部⑷をおこなった、キリスト教の代表者が集って開催された会議は何でしたか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 24

ⓐ ニケーア公会議　　ⓑ コンスタンツ公会議
ⓒ トリエント公会議　　ⓓ カルケドン公会議

問 5　下線部⑸に関連した説明として、**適切でないもの**を以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 25

ⓐ ルターは、キリストの福音(福音信仰)を否定した。
ⓑ ルターは、「九十五カ条の論題」において、贖宥状の悪弊を批判した。
ⓒ 当時、メディチ家出身の教皇レオ10世は、贖宥状を積極的に売り出していた。
ⓓ ルターは「九十五カ条の論題」を発表したあと、教皇から破門された。

問 6　下線部⑹の反乱を指導したのは誰ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 26

ⓐ ツヴィングリ　　ⓑ ホルバイン
ⓒ グーテンベルク　　ⓓ ミュンツァー

問 7　下線部⑺を定める帝国議会の決定を何と呼びますか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 27

ⓐ ミラノ勅令　　ⓑ アミアンの和約
ⓒ アウクスブルクの和議　　ⓓ メルセン条約

問 8　下線部⑻に関連した説明として、最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 28

ⓐ カルヴァンはバーゼル市長として宗教改革をおこなった。
ⓑ カルヴァンは、国家が信教を監督する領邦教会制を成立させた。
ⓒ 神の絶対性を強調する厳格な禁欲主義を特徴とする、一種の神権(政)政治がおこなわれた。
ⓓ 人の一生は予め神に決められているので、人間が利益を追求したり蓄財に励んだりするのは禁止された。

問 9　下線部⑼のうち、フランスにおけるカルヴァン派は何と呼ばれましたか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 29

ⓐ ゴイセン　　ⓑ ユグノー
ⓒ プレスビテリアン　　ⓓ ピューリタン

問10　下線部⑽を結成したのは誰ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 30

ⓐ ラス＝カサス　　ⓑ フランチェスコ
ⓒ イグナティウス＝ロヨラ　　ⓓ ベネディクトゥス

4 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

世界の経済は1870年代から大きな構造転換の時期を迎える。いわゆる(1)「第2次産業革命」の時代である。高度な(2)科学技術の発展を背景に、石油や電力を動力源に使い、重化学工業や電機工業が発達した。また、世界的な人口爆発と(3)移民、国家の役割の増強をはじめ、列強による世界分割がきわだつのもこの時代からである。イギリス自由主義の時代は終焉を迎え、世界は帝国主義列強の競う時代に突入する。列強諸国の対外姿勢が(4)自由貿易政策から領土拡張政策に転じ、権益の分割をめぐって争った時代であった。これにより、ヨーロッパとアジア・(5)アフリカとの関係も大きく変化していった。

他方、当時の欧米社会では、後に大きな意味をもつにいたる運動がめばえた。すなわち、大衆運動としての社会主義である。たとえば、ドイツでは世界最大の(6)マルクス主義政党であった社会民主党が勢力を伸ばし、(7)1889年に各国の社会主義政党の代表により結成された国際組織の中心メンバーとして活躍した。また、ヨーロッパ各地では多様な(8)社会主義運動が広まっていった。

帝国主義の時代の欧米は、このように国内に緊張をはらみながらも、それなりに国民生活を充実させてゆく。その経済的基盤は海外からの収入にあったので、(9)国民生活および内政の安定のためにこそ、植民地支配を積極的に推進すべきだと唱える論者もいた。実際、(10)アフリカ大陸は、エチオピア帝国とリベリア共和国をのぞいて、すべて帝国主義列強の植民地として分割されてしまった。植民地の支配者は、アフリカの人々の経済社会をかえりみることなく境界線を定め、また彼らの生活文化を無視して、鉱山や大農園で労働を強制したのである。そのために、現地の人々の伝統や生活圏は激変し、将来に大きな禍根を残すことになった。

問1 下線部(1)を牽引した国の組み合わせとして最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 31

ⓐ イギリス・フランス　ⓑ フランス・ドイツ
ⓒ アメリカ・ドイツ　ⓓ イギリス・アメリカ

問2 下線部(2)に関連して、電気が工業や生活に用いられたのはこのときが最初で、それは電話にも応用されましたが、1876年に電話機を発明した人物は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 32

ⓐ モールス　ⓑ ファラデー　ⓒ ベル　ⓓ マルコーニ

問3 下線部(3)に関連して、1880年代以降のアメリカ合衆国の重工業の発展を支えたのは、おもにどの地域からの移民でしたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 33

ⓐ 東欧・南欧　ⓑ 北欧・東欧　ⓒ 北欧・南欧　ⓓ 西欧・東欧

問4 下線部(4)を実現するために、イギリスが1846年に廃止した法律は何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 34

ⓐ 航海法　ⓑ 移民法　ⓒ 工場法　ⓓ 穀物法

問5 下線部(5)の分割をめぐり、1884～85年に開催され、植民地化の原則を定めた会議は何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 35

ⓐ ベルリン会議　ⓑ ウィーン会議
ⓒ ローザンヌ会議　ⓓ ジュネーブ会議

問6 下線部(6)が、資本主義経済の理論的な解明を試みた主著は何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 36

ⓐ 経済表　ⓑ 諸国民の富　ⓒ 資本論　ⓓ 人口論

問7 下線部(7)の名称として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 37

ⓐ コミンテルン　ⓑ コミンフォルム
ⓒ 第1インターナショナル　ⓓ 第2インターナショナル

問8 下線部(8)に関連して、政党の指導ではなく、労働者の直接行動とゼネストによる社会革命の実現をめざした運動は何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 38

ⓐ アナーキズム　ⓑ サンディカリズム
ⓒ マッカーシズム　ⓓ コミュニズム

問9 下線部(9)に関連して、イギリスの植民相をつとめ、国内の社会問題解決のためには、帝国を拡張し、植民地の積極経営が必要と主張した人物は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 39

ⓐ セシル＝ローズ　ⓑ グラッドストーン
ⓒ ディズレーリ　ⓓ ジョゼフ＝チェンバレン

問10 下線部(10)に関連して、イタリアが獲得に成功した地域はどこですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 40

ⓐ モロッコ　ⓑ ソマリランド
ⓒ アルジェリア　ⓓ チュニジア